

埼玉自動車大学校版

〒362-0806
北尾立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

第53回埼玉大祭・オートジャンボリー2023開催



「第53回埼玉大祭・オートジャンボリー2023」を10月28日、29日の2日間、本校を会場に約7000名の来場者を迎え盛大に開催した。

昨年度から埼玉大祭とオートジャンボリーを同時開催するようになり、埼玉大祭は53回目、オートジャンボリーは15回目の開催となった。

校地のほぼ全てがイベント会場となり、車両展示やアトラクション、ステージ演奏などが行われ来場者を楽しませた。中でもグラウンドにヒストリックカー250台が集まった様子は圧巻で、普段あまり目にするこのない希少車を写真に収める姿が多く見られた。

屋外多目的スペースでは、二輪エクストリーム走行や大迫力のカースタントショーも行われた。また、実習場では本校学生製作のカスタムカーをはじめ二輪四輪車が所狭しと展示され



た。埼玉県警によるパトカー、白バイ、自衛隊による特殊車両、各自動車デイラーによる新型車の展示も人気を集めた。さらに、中学生・高校生出演のステージがイベントに華を添えた。その他、子供から大人まで楽しめる盛り沢山のイベントや物販等もあり、熱気に満ちた2日間を学生もスタッフとして楽しんだ。

クラシックカークラブ活動

学生サークルのクラシックカークラブが車両出展を重ねている。

「第26回幸手クラシックカーフェスティバル」が11月12日幸手市の権現堂公園駐車場で実施され、ブルーボードを出展した。このイベントには歴史があり、幸手市長をはじめ来賓も出席し、県外からの参加者も多い。展示した本校の車両は卒業生からサークル活動として利用して欲しいと提供されたもの。参加した学生たちはこの車両に詳しい来場者から知識を得たりサークル活動について説明したりと、有意義な時間を過ごした。



翌週の19日は川越市立博物館で開催された「第8回

なつかしい昭和の自動車・オート三輪大集合」に本校のダイハツミゼットで参加した。昭和30年代の三輪自動車に限定して展示。商業車であり使用状況が厳しい車両が多い。また、現存する車両は少なく現在では「くろがね」などメーカーさえ無くなっているものもある。当時のままの姿の車両

がノーフィッシュという名がノーフィッシュという

ジャパンモビリティショー2023見学

今回の「ジャパンモビリティショー2023」は東京モーターショーから名前を改めて、4年ぶりの開催となった。会場の東京ビッグサイトは、大混雑で、人々の関心の高さが窺えた。全科学生と職員計675名で11月2日に見学。開発中の車両や新型車両の他、カスタムカーや自動車以外の分野での展示もあり、学生たちは



今回の「ジャパンモビリティショー2023」は東京モーターショーから名前を改めて、4年ぶりの開催となった。会場の東京ビッグサイトは、大混雑で、人々の関心の高さが窺えた。全科学生と職員計675名で11月2日に見学。開発中の車両や新型車両の他、カスタムカーや自動車以外の分野での展示もあり、学生たちは

観劇会実施

親交会

親交会が観劇会を11月15日に実施した。観劇前にチサンホテル浜松町1階にあるイタリアンレストラン「ラヴェンナ」にて昼食をとった。こは、世界各国のメニューが季節ごとに味わる落ち着いた雰囲気のレストランだった。

午後からJR東日本四季劇場「春」へ移動し、「アナと雪の女王」を観劇。全世界のアニメー



親交会が観劇会を11月15日に実施した。観劇前にチサンホテル浜松町1階にあるイタリアンレストラン「ラヴェンナ」にて昼食をとった。こは、世界各国のメニューが季節ごとに味わる落ち着いた雰囲気のレストランだった。

フィッシングクラブ大会出場

神奈川県相模湖で11月12日に実施されたタックルアラインドグループ合同スパートーナメントIN相模湖にフィッシングクラブから学生3名が出場した。当日は天気にご恵まれたが、2日前より急激に気温が下がるといふ厳しい大会となった。3名とも魚を釣り上げることはできなかったが、大会出場者51名中、30名がノーフィッシュという

結果となった。当日は、スペシャルゲストとしてエバークリーニンターナショナルより菊元俊文プロが参戦し、大会を盛り上げた。大会終了後には出場者全員参加による抽選会や、菊元プロによるトークショー、新製品展示会も実施された。学生たちは菊元プロと一緒に記念撮影やサ



インをもらうなど、魚を釣ることはできなかったが、充実した一日となった。今年が今年度最後の試合となり良い成績を残すことはできなかったが、次年度は良い成績が残るように頑張りたい。